

# ガバナー月信

vol.05 2024.11



10月の地区大会で書道パフォーマンスを披露した南雲ガバナー。「舞台で輝く」と書き上げた

## 月信11月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 室賀年度結団式
- ③ 南雲年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会
- ④ 第6分区 IM
- ⑤ 新発田中央 RC 創立 30 周年記念式典
- ⑥ 第1分区 IM
- ⑦ 第7分区 IM
- ⑧ ガバナー公式訪問報告
- ⑨ 地区ラーニング委員会
- ⑩ 財団委員会通信
- ⑪ 地区主要行事予定(11月・12月)
- ⑫ 新入会員紹介・訃報
- ⑬ コーディネーターニュース
- ⑭ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区  
2024-25 年度

**南雲ガバナー事務所**

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574  
ホテルイタリア軒 B1  
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



# 合同公式訪問

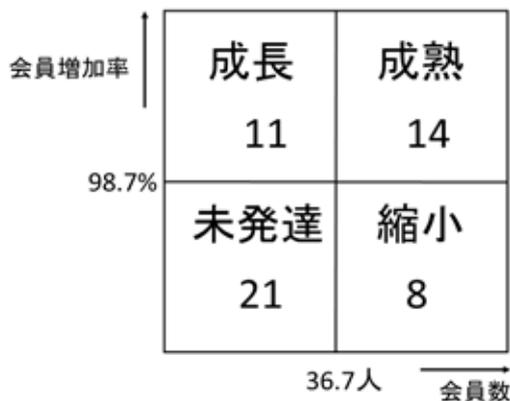
2024-25 年度 ガバナー  
**南雲 博文** (長岡 RC)

今日で（10月16日）公式訪問が52クラブ終了しました。皆様の心あたたまる歓迎をいただき、また力不足のところをロータリーの友情に免じてお許しいただきました。この場を借りて感謝とお詫びを申し上げます。今年度はガバナー補佐の方にたぶん今まで以上だと思いますが、区内のマネジメントをしていただき、グループ化と合同での公式訪問をお願いしていただきました。54クラブのうち、44クラブを16にまとめていただき、残り10クラブを単独で行いました。第6分区はIMと同日で開催していただきました。初めての試行でお互いに戸惑うことも多く、ご迷惑をおかけしたと思います。各クラブから合同についてアンケートを取りました。2、3のクラブからやり方にもう一工夫が必要とのアドバイスをいただきましたが、ほぼ全クラブから賛成の評価をいただきました。この後全クラブ終了後、ガバナー補佐との総括を行い反省、これからの対応、次年度以降への提言等も行いたいと思っております。またまとまりましたらご報告を申し上げたいと思っております。

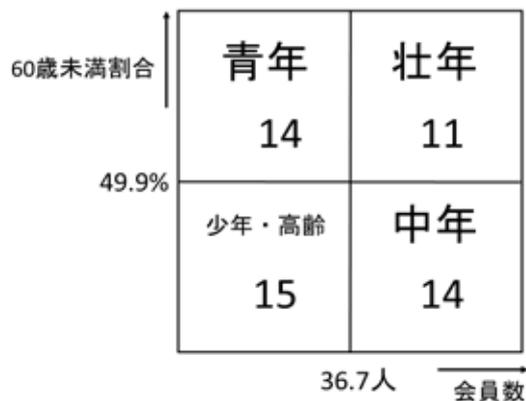
今回は、訪問結果から成長分析と元気度分析についてお話しいたします。

表は、石本クラブ活性化委員長の資料のもと、高野公式訪問担当副幹事の作成データです。

成長分析図



元気度分析図



- (1) 成長分析は各クラブの 2011 年 7 月から 2024 年 7 月までの会員の増加率と会員数のマトリックスです。
- ・地区の平均は増加率 98.7% でほぼ横ばいです。会員数の平均は 36.7 人です。
  - ・成長と成熟が増加率ほぼ 100% 以上で伸びているクラブで、25 クラブで約 46%
  - ・増加率マイナスで、会員数が平均以下が 21 クラブありますが、そこが奮起してもらう必要があります。
- (2) 元気度分析は会員の年齢が 60 歳未満の割合と会員数のマトリックスです。
- ・60 歳未満の割合はクラブ平均 49.9% で約半数ですが、地区としては青年と壮年で 25 クラブ (46%) となっています。
  - ・平均年齢とほぼ一致しますので、クラブ平均年齢も 60 歳以下はクリアしたものです。
- また公式訪問の総括ができましたら何かの機会でご報告したいと思います。





## 室賀年度結団式

地区幹事

関根 功雄 (白根 RC)

2024年9月21日土曜日、サルナート吉運堂にて室賀信宏ガバナーエレクトの結団式が、南雲博文ガバナーをはじめ、パストガバナー、室賀年度各分区ガバナー補佐、第3分区各クラブ会長及び幹事など、総勢57名のご列席のもと執り行われました。

開式後、室賀信宏ガバナーエレクトからの挨拶では、南雲年度同様ガバナー補佐を中心に各クラブに寄り添い、地区もそれを積極的にフォローしていくという方針を語られました。また、2025-26年度の国際ロータリーの動向として、テーマやロゴが採用されないという象徴的な出来事が紹介されましたが、地区としては例年通りテーマとロゴを作成し、それらに向かって活動して行きたいと決意を表明されました。

その後、ご来賓の皆様全員をご紹介させていただき、ガバナー南雲博文様、直前ガバナー米山忠俊様、パストガバナー高尾茂典様より心温まるご祝辞を賜りました。そのお言葉にガバナースタッフ一同感謝とともに身が引き締まる思いとなりました。その後、結団式閉会の言葉として、パストガバナー新保清久様よりご参列の方々に御礼のご挨拶を頂戴しました。結団式を滞りなく納めることができましたことに対し、ご参列の皆様にご心から感謝申し上げます。

次に祝宴の運びとなり、パストガバナー鈴木重吉様よりご祝辞をいただきました。その後乾杯に移り、パストガバナー渡辺敏彦様より激励のお言葉と乾杯のご発声をいただき祝宴がスタートいたしました。お二方とも、白根ロータリークラブとの因縁や、故佐野孝パストガバナーとのエピソードもご紹介していただき、懐かしく拝聴したロータリアンも大勢いらっしゃったかと思えます。宴も盛り上がり、まだまだ心残りではありましたが、中締めをパストガバナー山崎堅輔様から賜り、結団式を締めさせていただきます。

室賀信宏ガバナーエレクト、スタッフ一同、この結団式を機に国際ロータリー第2560地区が益々隆盛を保ち、富山年度、さらにはその次の年度まで永続的に発展する様頑張る所存でございますので、皆様のご協力を切にお願い申し上げます。



# 地区大会記念親睦ゴルフ大会を終えて

ゴルフ大会実行委員会

実行委員長

松原 幸人 (長岡 RC)

9月24日(火)、25日(水)両日とも晴天に恵まれた中、長岡カントリー倶楽部に於きまして地区大会記念ゴルフ大会が開催されました。昨今地球温暖化等の影響でしょうか9月に入っても猛暑日が続き、中旬には線状降水帯による豪雨の発生など野外で開催される事業だけに天候が一番心配事ではありましたが、おかげ様で両日共秋晴れの爽やかな中でプレイを楽しんでいただけたことにほっとしています。



362名の登録と336名の参加、多くの方に参加していただきました。プレイしていただいた長岡カントリーは東西南の3コースですが、やはり上田治がコース設計した東西コースが有名です、せっかくの機会ですので長岡より遠いロータリークラブの方を優先させていただきました。両日とも晴れましたのでコース設計の特色が出たようでコースから上がってきた皆様の顔が物語っていた様に思います。目のきつい芝と砲台グリーン私自身何度やっても苦しめられます、長岡カントリーを存分に味わっていただけたのであれば幸いです。

又、今回参加賞として南雲年度のバッジをデザインしたマーカーと大和屋さんのクレヨンを選ばせていただきました。味覚とプレイの思い出としていただければと思います。

おかげさまで無事に終えることができました。ご参加いただいたロータリアンの皆様、運営にご協力いただいたスタッフの皆様に本当に深く感謝いたします。ありがとうございました。

## 2024-25年度地区大会記念親睦ゴルフ大会 受賞者

【個人戦】(上位3名)			【団体戦】(上位3クラブ)		
優勝	山本	剛史 (新潟南 RC)	優勝	新潟南	RC
準優勝	斉藤	博文 (白根 RC)	準優勝	新潟西	RC
3位	関	朋生 (新潟西 RC)	3位	新手妙高	RC

※その他の受賞者につきましては、クラブ事務局に成績表をお送りしておりますので、そちらをご参照ください。



## 第6分区 IM

第6分区ガバナー補佐

吉田 之人 (十日町 RC)

国際ロータリー第2560地区 第6分区のIM（インターシティ・ミーティング）は、十日町ロータリークラブをホストとして、9月28日（土）に、あてま高原リゾート ベルナティオにおいて、約80名の参加で盛大に開催されました。

IMは近隣のクラブが集まって開かれる会合です。五大奉仕部門（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、）をカバーし、ロータリーの特徴やプログラムを検討します。クラブ会員全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることにあって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕理念を勉強するために開催されます。

今回のIMは南雲博文ガバナーの掲げた地区のスローガン「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」のもとで第6分区会長幹事会で協議の結果、第6分区の全クラブでのガバナーグループ公式訪問とし、IMとの同時開催となりました。過去にあまり例が無いような手法ですが、試行錯誤しながら行うことが、我々により良い経験と絆をもたらしてくれました。

基調講演では歴史小説家の伊東潤先生をお招きし、「歴史から学ぶ7つの教訓」と題し、歴史上の著名な人物の生き様を学ぶ事で、我々の今後の生き方について大変勉強になりました。

参加頂いた地区の役員の皆様、第6分区の会員の皆様に心より感謝を申し上げ報告とさせていただきます。





(十日町 RC、小千谷 RC、雪国魚沼 RC、十日町北 RC、津南 RC、越後魚沼 RC)





## 創立 30 周年記念式典を迎えて 「感謝の実践！」

新発田中央ロータリークラブ 会長  
小池 裕

2024年9月28日に月岡温泉白玉の湯華鳳にて創立30周年記念式典を、ご来賓や多くのロータリアンにお越しいただき、150名の出席者で盛大に開催しました。

式典のオープニングでは、当クラブがインターアクトクラブのスポンサーを務めております新発田中央高等学校の吹奏楽部による若々しく迫力のある素晴らしい演奏を披露いただき、出席者の心に深く響き、式典の幕開けにふさわしい瞬間となりました。

続いて行われた式典は、厳粛かつ格式高い雰囲気の中で進行され、風間ガバナー補佐、二階堂新発田市長の祝辞や周年記念事業として寄贈した消防仕様の軽車両の披露、歴代会長への感謝状の贈呈を行いました。また、第2840地区群馬県安中ロータリークラブとの友好クラブ継続の締結調印式も執り行いました。30年の歴史を振り返りつつ、感謝を忘れず、変化を求め、新たな挑戦に向けて決意する式典となりました。

その後の祝賀会では、華やかな会場で和やかな雰囲気の中かで進行され、参加者同士の交流も活発に、これからの発展を誓い合う場となりました。また、アトラクションでは、当クラブメンバーが演出し、大変賑やかに、笑い声や拍手が絶えない一夜となりました。

この節目を迎え、我々新発田中央RCは、我々の魅力を忘れずに、多くの方々に支えられてきたことに感謝し、今後、さらに奉仕の理念を実践し、志を高く、地域社会に貢献できるよう取り組んでいく所存です。

これからも、宜しくお願い申し上げます。 感謝！





# 第1分区 IM 開催報告

第1分区ガバナー補佐  
**風間 良光** (豊栄 RC)

令和6年10月12日(土)、月岡温泉 ホテル清風苑において、127名の参加をいただき第1分区のIMが取り行われました。

2024-25年度国際ロータリー 2560 地区南雲博文ガバナーのテーマ「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」の方針のもと、地区では、「クラブの大小、地域差、年齢を超えてロータリーで活躍していただき、地域の活性化にも繋げていただきたい。クラブとしてロータリアンとして、新しい舞台で輝き、周囲を巻き込みながら、魅力的なステージでマジックを共有しましょう」とも言われています。

今年度は豊栄 RC がホストを務め、「持続可能な組織づくり、新しいロータリー活動のカタチ」テーマとして、開志国際高等学校教頭、バスケットボール総監督 富樫英樹先生より「無限なる挑戦～持続可能な組織運営」の演題でご講演をいただきました。

講演では、まず初めに「目標や夢を持つこと」から始まり、しようと思ったことを始め、始まったら続けること。開志国際高等学校では、5年目の挑戦で「凡事徹底」をバスケットボール部のテーマに掲げたら、全国大会優勝を勝ち取る事が出来たそうです。また、「未来には希望、現在は努力、過去には感謝」等を情熱あふれる講演をして頂きました。

その後、懇親会の最後には「手に手つないで」を合唱し終了することが出来ました。

ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。





## 第7分区第31回IM開催について

第7分区ガバナー補佐

**和泉 伸一郎** (新井妙高 RC)

2024年10月12日デュオ・セレッソを会場に、新井妙高ロータリークラブ須田実行委員長のもと、1年間準備して来ましたが、第7分区IMの式典に公務多忙の中、妙高市長城戸陽二様、パストガバナー大谷光夫様をご来賓にお迎えし、第7分区7クラブより約150名のロータリアンの皆様からご出席をいただき、今回のIMのテーマとして「人口減少時代に負けるな上越エリアの魅力再発見」という事で、第2部に各方面で活躍されている方々より、Uターン・移住・行政・若者の視点よりご発言をいただき、コンパクトシティの考え方との調和について、5名のパネリストとコーディネーター妙高市議会議員の今田亜樹様の熱心なパネルディスカッションを実施させていただき、他人ごとではなく自分自身が今出来ることを実践しなければと思ったところです。

次に今回のIMの記念事業としまして、上越市（高田地区）、上越市（直江津・春日山地区）、糸魚川市（糸魚川地区）、妙高市（妙高地区）の4ヶ所の子ども食堂を運営している団体に各米一俵を寄贈することに決定させていただきました。寄贈先子ども食堂は各地区クラブで選定をお願い致しました。

その後、第3部の懇親会の前に次年度ガバナー補佐エレクトに糸魚川クラブ小田島修平さん 又、第32回IMホストクラブに糸魚川クラブに決定を報告し、楽しい懇親会ではアトラクションで新井吹奏楽団による演奏を聴かせていただき、また2024年10月5日に行われたIM記念ゴルフ大会の表彰式を行い、名残り惜しい中、終了させていただきました。



## ガバナー公式訪問報告

### 新津中央 RC

会長 高橋 健朗

幹事 遠山 博文

会場：割烹 一楽

新津中央ロータリークラブは、今年度9月10日(火)に南雲ガバナーの公式訪問を受けました。今年度の地区の意欲的な取り組みとして公式訪問の合同開催がありましたが、当クラブは単独での公式訪問を希望しました。その理由としては、第3分区は地区の中でも最小の人数で構成されており、ガバナー公式訪問はそもそもそうした『小さなクラブ』の問題点をガバナーに知っていただく貴重な場であると考えていること、やはり複数のクラブ合同での開催となると、公式訪問と同時に各クラブ個別の意見交換に割くべき時間(最低でも40分は必要と思われる)の関係で、どうしても公式訪問が長時間になってしまうと判断したからです。実際の意見交換でも現状の小さいクラブが抱える問題を率直にガバナーにぶつけること

ができ、またそれに対して貴重な御意見や御指導を受けることができたと感じております。また『クラブの連携』という地区の考え方に関しても、一般的にガバナーを輩出するクラブは比較的大きなクラブが多いと思われそうですが、やはり大きなクラブの方々の考える『連携』と、小さなクラブの方々の考える『連携』とは少し隔たりがあるような印象も受けました。ですから地区が目指すような『連携』を生み出すには、まだ地区自体にもその土台が整っていないということ、また地区の方針がいきなり降りてくるような最近の傾向に関する苦言なども遠慮なく述べさせていただき、非常に有意義な公式訪問になったと感じております。その後のガバナーの卓話も、自身のことを中心に素晴らしい内容で纏められており、大変勉強になりました。

新津中央 RC 会長 高橋 健朗



### 糸魚川 RC

会長 猪又 直登

幹事 松木 美沙子

### 糸魚川中央 RC

会長 永江 善昭

幹事 小川 節雄

会場：割烹倉また

2024年9月26日に南雲博文ガバナー、和泉ガバナー補佐、高野裕地区副幹事、佐田直人地区大会担当幹事をお迎えして、糸魚川 RC、糸魚川中央 RC 合同でのガバナー公式訪問が開催されました。懇談会では、長年取り組んできた合同事業や親睦事業など、両クラブがこれまで深めてきた関係や今後の連携についての話題の他、各クラブの特性や個別の課題について意見交換を行いました。糸魚川 RC は安定した会員数を維持しつつも、例会出席率の伸び悩みという課題を抱えているのとは対照的に、糸魚川中央 RC は 90%以上という高い例会出席率を維持しながらも、近年減少が続いた会員の増強が最大の課題となっています。これらの打開策につい

て、南雲ガバナーをはじめ地区役員の皆様から多くの解決ヒントやアドバイスを頂戴しました。

ガバナー講話では、RI の年度テーマ「ロータリーのマジック」、地区運営方針「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」についての解説をはじめ、ロータリアンに求められる5つの要素(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ)や南雲ガバナーご自身の経歴、大切にされている考えなど多岐に渡りお話しいただきました。また、その後の懇親会ではメンバー厳選のワインを囲んでの交流で大変盛り上がり、南雲ガバナーのお人柄にも触れることができた大変貴重な機会となりました。

南雲ガバナーをはじめ皆様に心より感謝申し上げます。

糸魚川 RC 会長 猪又 直登



<b>柏崎 RC</b>	会長 前川 修	幹事 小田 修市
<b>柏崎東 RC</b>	会長 大塚 秀一	幹事 植木 盛久
<b>柏崎中央 RC</b>	会長 三井田 誠	幹事 近藤 千鶴

会場： 柏崎産業文化会館

2024年9月18日に南雲博文ガバナーをお迎えし、柏崎 RC、柏崎東 RC、柏崎中央 RC の3クラブ合同での公式ガバナー訪問を開催させていただきました。

また当日は例会前に、南雲博文ガバナー、村上敦子筆頭副幹事、高野裕副幹事をお迎えし阿部房雄ガバナー補佐の司会進行のもと、各クラブ正副会長幹事との懇談会が開催されました。今回は他のクラブが懇談会を開催している際にも、互いに参列するという初めての形式で開催されました。これにより南雲ガバナーから貴重なアドバイスをいただけただけでなく、他のクラブが抱えている悩みや、素晴らしい取り組みについても聞くことができ、非常に学びの多い、貴重な機会と

なりました。

現在、私たちの社会は急激な人口減少や働き方改革など、かつてないほど大きな変化を迎えています。これに対応するため、ロータリークラブも変化を求められているのではないかと思います。

私たちはこれを前向きに捉え、いままで大切にしてきた伝統を尊重しながらも、新たな視点を取り入れてさらなる成長を目指していければと思っています。

また、今回の機会を通じて、柏崎 3 クラブが相互理解を深め、絆を一層強め、合同事業の開催など、新しいチャレンジの年にしていきたいと思っています。

柏崎 RC 会長 前川 修



<b>長岡 RC</b>	会長 小川 智史	幹事 島宗 隆一
<b>栃尾 RC</b>	会長 薄田 達哉	幹事 白倉 龍典

会場： 長岡グランドホテル

2024年10月1日、南雲ガバナー、阿部第5分区ガバナー補佐、阿部地区幹事を長岡グランドホテルにお迎えし、長岡 RC と栃尾 RC のガバナー公式訪問が合同で開催されました。

合同懇談会では、両クラブの代表が特長や困り事を情報共有し、様々な意見交換を致しました。長岡地区は 4RC が合同で夜例会や会長幹事会など交流や親睦を積み重ねていますが、初めて両クラブに共通課題が多い事を知りました。その中で、自クラブに無い他クラブの良い取り組みや事業にお互いの会員が参加できないか話題となり、栃尾 RC 会員へ長岡 RC 職場見学会のメイクアップ参加をご案内する事が決まりました。また、MY・ROTARY クラブセントラルのクラブ3カ年計画の不明点を、ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事より具体的に

ご指導頂き、今後の取り組み方の方向が定まりました。この合同懇談会はとても内容が濃く充実した素晴らしい時間でした。

昼食を挟み合同例会が行われ、ガバナー講話では南雲ガバナーの経歴、今年度の方針、ロータリーに対する思いを伺いました。特に「ロータリアンの神髄は“高潔さ”」「高潔さとは、上品で気品・品格があり他人を否定しない。優れた決断力を持っている。自分に非があれば、速やかに認めて謝罪する。」とのお話に、私もロータリアンとして恥じない“高潔さ”が身に付く様に努力しようと思いました。

今回は初めての合同ガバナー公式訪問でしたが、両クラブが共榮する方法を考える機会となり、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

長岡 RC 会長 小川 智史



**白根 RC**

会長 大矢 昭弘

幹事 小林 諒

会場：サルナート・吉運堂

去る9月19日、南雲博文ガバナーをお迎えして、公式訪問を実施いたしました。ガバナー本人のプロフィールから今年度方針、各クラブに対しお願いしたいことなど、丁寧に分かりやすくクラブ員にご指導頂き誠にありがとうございました。また、対面でのヒアリングを受け、当クラブの現状と取り組みをお伝えすることが出来たと感じております。さて、今年度の公式訪問は、ガバナー方針で分区単位での開催を推奨されましたが、残念ながら希望に沿えず、わがままを申し上げ単独開催とさ

せて頂き大変失礼を致しました。クラブを取り巻く環境は年々変化の一途をたどっていると感じています。時代と共に開催方法や奉仕活動を変えることはマンネリ化を防止し、組織を衰退させることなく後世に繋げていくうえで重要だと思います。若い世代が魅力を感じるクラブとは何か、繁栄するクラブの条件は何か、まだまだ分からないことだらけの会長ですが、ご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。

白根 RC 会長 大矢 昭弘



**十日町 RC**

会長 吉澤 政敏

幹事 長谷川 吉徳

**小千谷 RC**

会長 村田 正

幹事 西巻 吉弘

**雪国魚沼 RC**

会長 高村 裕樹

幹事 海津 博之

**十日町北 RC**

会長 高橋 等

幹事 池田 宏

**津南 RC**

会長 桑原 健次

幹事 江村 大輔

**越後魚沼 RC**

会長 坂田 明

幹事 小関 義信

会場：あてま高原リゾート ベルナティオ

9月28日に十日町市の「あてま高原リゾート ベルナティオ」にて第6分区のガバナーグループ公式訪問が開催されました。

今回はIMとの同時開催という初の試みではありましたが、分区内約80名のメンバーが集まって、中身の濃いロータリークラブらしいイベントを行えたと思っております。

まずは分区内の会長・幹事・会長エレクトを対象に南雲ガバナーとの懇談会を行いました。自クラブの問題や悩みを膝詰めで話し合っ、その場に居た分区内メンバーが課題の解決に向けた前向きな考え方を共有しました。

続いて会場を変えての合同例会。ホストクラブ会長である私からの歓迎の挨拶の後に各クラブ会長よりの挨拶と南雲ガバナーの講話、そして記念撮影という内容です。

その後、同会場でのIMに移行。今回は歴史小説家の伊東

潤先生をお招きし、「歴史から学ぶ七つの教訓」という基調講演を頂きました。本年度の地区バッジのコンセプトが「歴史から学び、新たなステージへ」ということですので、新潟県出身の故・火坂雅志先生の志を引き継ぎ『北条五代』を書きあげ、BS放送でも歴史解説を担当する伊東先生に講演をお願い申し上げましたところ、とても良い話だったとお声を多く頂戴しています。

締めくくりの大懇親会は、前日に行ったゴルフコンペの表彰式も兼ねての和気藹々とした交流会になりました。

2日間にわたってロータリアンとしての多くの学びと様々な交流を得ることができましたことに心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

十日町 RC 会長 吉澤 政敏



**長岡東 RC**  
**長岡西 RC**

会長 外山 敦之  
会長 近藤 賛

幹事 飯利 美和子  
幹事 諏訪部 達

会場：ホテルニューオータニ長岡

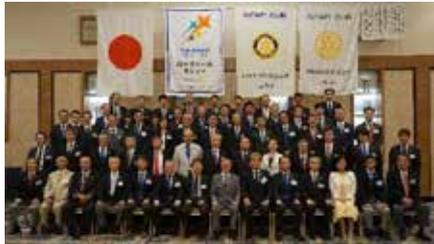
10月2日、長岡東クラブ、長岡西クラブ合同にて、南雲ガバナー公式訪問例会が開催されました。長岡西クラブの会員の皆様には、長岡東クラブの例会場での開催に協力していただき、ありがとうございました。

例会前の懇談会では、長岡東クラブ、長岡西クラブ双方の現状や課題などが話し合われました。会員増強、例会出席率の向上、クラブの活性化などは、どのクラブも抱えるテーマであることを再認識しました。また長岡東ローターアクトクラブ会長の星野洸太さんにも懇談会に参加いただき、ローターアクトクラブの現状を説明のうえ、要望を直接ガバナーに聞いていただくことができました。南雲ガバナーからは、大変心強い前向きな回答を頂きました。

例会は2クラブ合同のため、いつもとは違った雰囲気となりました。長岡東、長岡西両クラブの会員がお互いに会話をし、話が盛り上がっていたように思います。

南雲ガバナーの講話は、ガバナーの自己紹介から始まりましたが、ガバナーの人となりを知ることで、いっそう親近感をもつことができました。講話によってロータリークラブが抱える様々な課題は、現状を打破することが必要で、将来ビジョンをもつことが必要だと認識できました。ロータリークラブを未来につなげるために、変わっていかねばならないと思いました。

来訪いただきました南雲ガバナー、阿部ガバナー補佐、町田副幹事、小川副幹事に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。  
長岡東 RC 会長 外山 敦之



**加茂 RC**  
**三条 RC**  
**三条南 RC**  
**田上あじさい RC**

会長 霜出 朋子  
会長 渡辺 良一  
会長 永桶 俊一  
会長 椿 一春

幹事 飛田 正玄  
幹事 船越 良則  
幹事 田中 康之  
幹事 高橋 勝之

会場：ジオ・ワールド VIP

10月3日(木)三条市ジオ・ワールド VIP で南雲ガバナーをお迎えし、第4分区分Aグループの4クラブの合同公式訪問が盛大に執り行われました。この日を迎えるまでに、会長幹事が何度も集まり、相談を重ねてまいりました。そのためクラブ同士の親睦を図ることができ、連帯感が増し、ガバナー補佐を中心としたチームができあがりました。

午前中は4クラブ合同の懇談会が開かれ、各クラブの困りごとや運営方針など、お聞きするよい機会となりました。これらの内容をもとに今後の活動方針や目標を共有し、各クラブの方向性をご指導いただきました。この度の懇談会は地区と各クラブの連携を深められた素晴らしい時間でした。

午後からはガバナーの講話をお聞きました。今年度の国際テーマや地区の目標、ビジョンについてお話をされました。創業者の語録と実践は大変に為になるお話でした。心に留めておきたい内容です。ロータリークラブとは奉仕の精神を持ちつつ、経営や社会の勉強もさせていただく素晴らしい組織であることを、改めて実感した次第です。

初めての試みで、不安はありましたが、大変刺激的な、有意義なグループ公式訪問でした。私は滞りなく無事に開催することができほっとしておりますが、三条の渡辺会長の「終わってしまいましたね。少し寂しくもありますね」というグループラインの文章が印象的でした。全く同感であります。

加茂 RC 会長 霜出 朋子



<b>見附 RC</b>	会長 円田 勝則	幹事 今居 誠
<b>三条北 RC</b>	会長 武田 恒夫	幹事 齋藤 孝之輔
<b>三条東 RC</b>	会長 大竹 賢一	幹事 名古屋 孝徳

会場： ジオ・ワールド VIP

三条北ロータリークラブと三条東ロータリークラブ、見附ロータリークラブは 10 月8日(火)に南雲博文ガバナー、杉山幸英ガバナー補佐、阿部修靖地区幹事、高野裕地区副幹事らをお迎えして、公式訪問およびグループ例会を共催いたしました。

今回は初の試みとなる3クラブによる共催というだけあって、従来のようにガバナーや地区役員の方々よりじっくりとメッセージやアドバイスを頂戴できるのか否か、なんといってもその点を気に懸けておりましたが、ガバナーらの盤石な準備、そして公式訪問にかける篤厚な想いのおかげをもちまして、

それもすべて杞憂に終わりました。

南雲ガバナーからは各クラブが持つ強みと弱み、あるいは歴史的背景や独自性を把握されたうえでの具体的かつ確かなアドバイスを、高野副幹事からは独自の考察や視点に基づいた斬新な提言を頂戴して、クラブ間連携のさらなる強化や会員増強などの取組みを必ずや成功させるとの決意を新たにされた次第であります。

この度は大変貴重な機会を設けてくださいましたことを心より感謝申し上げます。

見附 RC 会長 円田 勝則



<b>新発田中央 RC</b>	会長 小池 裕	幹事 石渡 光輔
-----------------	---------	----------

会場： 割烹 志まや

2024 年 10 月9日、当クラブにてガバナー公式訪問が行われました。南雲ガバナー、風間ガバナー補佐、高野地区副幹事、波多地区副幹事をお迎えし、活発な意見交換と今後の活動方針についての話し合いが行われました。

まずは、懇談会が行われ、当クラブの現状や、これまでのプロジェクトや奉仕活動、また地域社会への貢献についての取り組みをご確認いただきました。社会奉仕事業では「蔵春閣築山整備」、青少年奉仕事業では継続事業として取り組んでいる「小学生親善サッカー大会」、国際奉仕支援事業等の活動を報告し、特に、30 周年記念事業として取り組みました地域の安全を守るために役立てていただきたいと消防仕様の軽車両を新発田消防署へ寄贈した事業については高く評価いただきました。また、女性会員が多く在籍していることに

も評価いただき、これからのクラブ活性化には女性会員の力が大事であり、女性による様々な事業の展開が重要であるとしてご指導いただきました。

その後の例会では、南雲ガバナーよりご講話をいただきました。自己紹介から会社のことやロータリーのことをお話いただき、会社で実践されていること、「毎日変化させろ。変えるものがなければ、机の上の物の位置でも変えろ」の実践には心打たれるものがありました。また、ロータリーでの今年度の地区方針や取り組み等をご説明いただき、最後に、ロータリアンの神髄は「高潔さ」であると、「それぞれのステージで輝けるよう」取り組んでいく力となりました。大変お忙しいところお越しいただきありがとうございました。

新発田中央 RC 会長 小池 裕





## ガバナー補佐ラーニングのアンケートから見える地区運営の姿

地区ラーニング委員会  
副委員長

関川 博 (三条 RC)

南雲年度で施行された地区研修委員会（現在は地区ラーニング委員会）では、地区の諸問題解決策として研修（現在はラーニング）を強化することとしました。可能な限り全会員にロータリーを見直す機会としてラーニングを行いたいところですが、入会歴や経歴、役職などによって必要とするラーニングの内容が異なるため対象を①ガバナー補佐、②クラブ会長幹事、③地区委員会委員長、④新入会員としました。最終的に目指すところは、各クラブにラーニング委員会が設立され、クラブごとにラーニングが実施できることを目的としております。

さて、室賀エレクト年度ではガバナー補佐ラーニング・パート1、パート2が終了しました。アンケートを即日記入いただきましたが、驚くことに南雲年度とほぼ同様の内容でしたのでアンケートから見えて来たこれからの希望を僭越ながら記述いたします。

ガバナー補佐は従前IMを実施することが主な任務と誤解されておりました。国際ロータリーでは、2002年にDLP（地区リーダーシッププラン）を全世界のロータリーに義務化しましたが、当地区では浸透しておりませんでした。ガバナー補佐の重要任務は「クラブ支援」です。そして、そこから得られる情報をガバナーと共有しクラブが抱える諸問題を共に解決に導くということがDLPの肝なのです。ラーニングでは、そこにスポットを当てて実施いたしました。ラーニングとリンクするようにアンケートを仕立ててあり、即日に入力いただくことで「本音」を引き出すという手法です。

DLPを知っていましたか？との問いに、昨年同様受講者は知らないと回答されましたが、続いての質問でDLPを知りたいと思いませんか？では補講を希望されたり、資料を請求されたり等の前向きな回答でした。その他もクラブ活性化について等々の設問にも前向きな回答であり、ラーニングが役に立ったとされております。そのことについても、南雲年度のガバナー補佐と同様の傾向であるということをつけ加えます。

続く、ガバナー補佐ラーニング・パート2ですが、実はそのような回答であるだろうと予測し、内容はまさにDLPをより具体的にしたラーニングとしました。クラブへの定期訪問、地区委員会とクラブの接続方法、クラブ協議会への参加、ガバナーへのクラブ現況報告。アンケートではやはり前向きな建設的な回答であり、ガバナー補佐の役割を理解されてクラブ支援に力を入れる勢いすら感じとることができる内容に感動を覚えます。そして、アンケートのご意見欄に記述されている一言で「ガバナー補佐として新たな決意ができました」とされております。

各位異口同音であり、ガバナー補佐に就任される皆様はロータリアンとしての経験や意識が高く、さらに向上心をお持ちであると感じました。このラーニングが継続し更にスキルアップし、ガバナー補佐が地区運営の要となっている未来である事をご報告いたします。





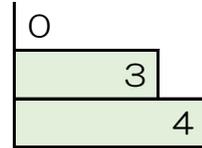
# 室賀年度 ガバナー補佐ラーニング・パート2 受講アンケート結果

## 1、パート1のおさらい

ガバナー補佐の最大の任務は、「クラブへの支援」であるが、着任したらトライしたい内容は？

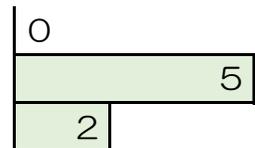
### Q1 クラブへの定期訪問について

- 規定通り四回
- 可能な限り回数を増やしたい
- クラブと調整して計画を立てる



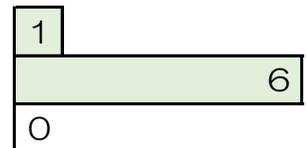
### Q2 地区委員会とクラブの接続について

- 強化月間該当委員会と同行訪問
- クラブが強化したい委員会へ地区委員会からの支援取り付け
- 具体的な案がない



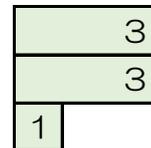
### Q3 クラブ協議会への参加について

- 積極的に参加する
- 要望があれば参加する
- 参加しない



### Q4 ガバナーへの現況報告について

- 自らガバナーへ報告する
- ガバナーから要望があれば答える
- 定期的にガバナー補佐会議を開いていただき、そこで報告したい

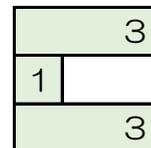


## 2、DLPについて

ガバナー補佐は、担当するクラブ運営を支援し、ガバナーが本来の責務に専念できるようにすることが「地区リーダーシッププラン」ですが、パート1のおさらいで理解が深まりましたか？

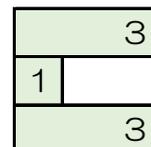
### Q5 ガバナー補佐による担当するクラブへの支援方法

- よく分かった
- 全体を再度、学びたい
- 具体的な支援方法を知りたい



### Q6 地区委員会との関わりについて

- よく分かった
- 深掘りして学びたい
- 具体的な関わり方を知りたい



Q7 ガバナー補佐は三年まで任期を延長できます

- 要請があれば、喜んで
- もう一年なら
- 当該年度のみ

0
0
7

### 3、ファシリテーション形式を体験して

座学での情報知識を、現実的にイメージできるようにファシリテーションを行いました

Q8 座学と比べてどうでしょう

- イメージ出来た
- 今後は、ファシリテーション形式で実施願いたい
- 座学より効果的だ

3
0
4

全体のご意見ご要望

- 準備して頂いた委員皆様に感謝します。とても参考になり、ガバナー補佐として新たな決意ができました。ありがとうございました。
- ありがとうございました。

# 「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信

## 世界ポリオデー活動事例紹介

ロータリー財団委員会 資金管理委員 高坂 光一(高田 RC)

皆さん、今年も10月24日の世界ポリオデーがやってまいります。

それでは、世界ポリオデーは何を記念して設定されたのでしょうか？そして、どのような行動を起こすまたは考える必要があるのでしょうか？

世界ポリオデーは、初めてポリオワクチンを開発したチームを率いた米国の医学者ジョナス・ソーク博士の誕生日を記念して、ポリオのない世界を目指す国際ロータリーによって制定されました。そして、この日はポリオ根絶に取り組む、国際ロータリー・WHO・ユニセフ・米国疾病対策センター・ビル&メリンダ・ゲイツ財団・Gavi ワクチンアライアンスなどがポリオウイルスの無い世界の実現に向け、想いを一つに協力を呼びかける日です。

このポリオデーには国内外で多くのロータリアン、ロータリークラブ、ローターアクトクラブが参加して地域への啓発、募金活動などを行っていますが、今日は私たちの仲間のロータリアンが続けている活動について紹介します。

その活動は「END POLIO Cycling Challenge 2750」、この活動は2750地区（東京・ミクロネシア・パラオ）の宮崎陽市郎ガバナエレクト（当時）が地区の協力を得て2022年10月1日～24日に北海道宗谷岬から鹿児島県佐多岬間2750kmの日本縦断走破、昨年ガバナ一年度には柏崎～東京お台場間日本横断24時間走破、大阪～東京間東海道30時間走破と重ね、本年も10月1日から北海道納沙布岬～長崎県の神崎鼻岬間2740kmで、ポリオプラス啓発と募金啓発を行っているものです。

本日（本文作成日）10月11日は、二本松（福島）～宇都宮（栃木県）を走破され、目的地の長崎県の神崎鼻岬には10月22日に到着予定とのことで、いつもながら「すごいなあ」と感心してしまうばかりです。また、連日送られてくる通過地でのロータリアンとの交流、報道関係から取材を受ける様子から、ポリオ根絶啓発だけではなく、ロータリークラブの公共イメージ向上にも大きく寄与されていることに敬意を払います。

他地区行事ではありますが、このように同じロータリアンがポリオ根絶に向け一生懸命取り組まれております。当地区でも一日も早いポリオ根絶のために皆様にはポリオプラス寄付へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

**END POLIO NOW !**



ポリオ根絶 サイクリングチャレンジ 2024

日本縦断 (納沙布岬～神崎鼻岬) Part2

10月1日 スタート

10月22日 ゴール

総走行距離 2,740Km

総獲得標高 18,900m



日程	出発地	(地区)	到着地	(地区)
	根室	2500		
10月1日	火 納沙布	2500	釧路	2500
10月2日	水 釧路	2500	帯広	2500
10月3日	木 帯広	2500	平取町	2510
10月4日	金 平取町	2510	登別	2510
10月5日	土 登別	2510	八雲町	2510
10月6日	日 八雲町	2510	青森	2630
10月7日	月 青森	2630	鹿角	2540
10月8日	火 鹿角	2540	花巻	2520
10月9日	水 花巻	2520	仙台	2520
10月10日	木 仙台	2520	二本松	2530
10月11日	金 二本松	2530	氏家	2550
10月12日	土 氏家	2550	三鷹	2750
10月13日	日 三鷹	2750	沼津	2620
10月14日	月祝 沼津	2620	浜松	2620
10月15日	火 浜松	2620	四日市	2630
10月16日	水 四日市	2630	尼崎	2680
10月17日	木 尼崎	2680	備前	2690
10月18日	金 備前	2690	尾道	2710
10月19日	土 尾道	2710	岩国	2710
10月20日	日 岩国	2710	下関	2710
10月21日	月 下関	2710	久留米	2700
10月22日	火 久留米	2700	佐世保	2740



## 第 2560 地区 2024-25 年度 9 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	9月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	/	-	377	386	44	9
新発田	3	31.1%	87	90	1	3
村上	4	20.0%	38	40	9	2
水原	4	26.5%	33	34	2	1
中条	3	100.0%	49	50	3	1
新発田城南	3	23.1%	39	40	6	1
豊栄	3	26.1%	23	23	2	0
新発田中央	5	9.1%	43	44	6	1
中条胎内	2	48.7%	39	39	9	0
村上岩船	3	30.8%	26	26	6	0
第2分区 (9クラブ)	/	-	447	455	31	8
新潟	4	32.1%	78	81	3	3
新潟東	4	17.5%	62	63	7	1
新潟南	4	36.2%	113	115	8	2
佐渡	1	75.0%	4	4	0	0
新潟西	3	37.0%	52	54	3	2
佐渡南	3	12.8%	38	38	3	0
新潟北	3	32.4%	37	37	1	0
新潟中央	3	34.8%	23	23	0	0
新潟万代	3	55.0%	40	40	6	0
第3分区 (5クラブ)	/	-	94	97	8	3
新津	4	26.7%	15	15	1	0
村松	3	52.9%	15	17	1	2
白根	2	27.3%	31	33	2	2
新津中央	4	37.0%	27	26	4	-1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区 (11クラブ)	/	-	354	360	30	6
三条	3	12.7%	54	55	0	1
燕	2	7.0%	42	43	3	1
加茂	3	10.0%	29	30	4	1
三条南	2	23.1%	37	39	3	2
分水	4	70.0%	30	30	4	0
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.2%	24	24	3	0
三条北	4	13.2%	52	53	4	1
巻	4	7.7%	26	26	2	0
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	3	20.6%	34	34	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	9月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	/	-	297	301	30	3
長岡	3	65.3%	47	49	5	2
柏崎	2	2.2%	45	46	0	0
長岡東	4	26.7%	60	60	9	0
柏崎東	3	19.5%	41	41	2	0
栃尾	4	19.0%	20	21	1	1
長岡西	3	20.4%	49	49	3	0
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分区 (6クラブ)	/	-	114	123	11	9
十日町	3	25.0%	28	36	7	8
小千谷	3	14.8%	27	27	2	0
雪国魚沼	4	19.2%	26	26	2	0
十日町北	2	0.0%	10	11	0	1
津南	3	28.6%	15	15	0	0
越後魚沼	3	25.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	/	-	303	313	22	10
高田	2	36.8%	67	68	4	1
直江津	3	35.1%	72	74	6	2
新井妙高	2	16.2%	34	37	1	3
糸魚川	4	90.7%	43	43	3	0
高田東	3	54.3%	33	35	2	2
糸魚川中央	4	48.3%	26	29	2	3
越後春日山	3	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
9月末会員数	2,035 人
女性会員数	176 人
純増減会員数	49 人
My Rotaryアカウント登録率	30.4 %

## 地区主要行事予定

2024年10月22日現在

年	月	日	行事	会場	
2024年 (R6) 南雲年度	11月	ロータリー財団月間			
		2	(土)	クラブ会長幹事ラーニング	
		9	(土)	新潟南RC創立65周年記念式典 ※内々で開催予定	新潟ブランドホテル
		9~10	(土~日)	日本ロータリー学友会総会	東京海洋大学 越中島キャンパス
		16	(土)	2025~26年度長期派遣学生選考試験	ホテルオークラ新潟
		16	(土)	米山記念奨学生学友会総会	ホテルオークラ新潟
		30	(土)	補助金管理セミナー	ホテルイタリア軒
	12月	疾病予防と治療月間			
		1	(日)	全国青少年交換委員長会議	AP日本橋+ZOOM
		2	(月)	全国次期米山記念奨学委員長対象第1回セミナー	東京ブランドホテル
		7	(土)	第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	長岡ブランドホテル
		12	(木)	ロータリー財団地域セミナー	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	第2回ガバナー会議	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	RI会長ご夫妻・TRF管理委員長歓迎晩餐会	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	メジャードナー午餐会	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	ガバナーノミニー・ラーニング・セミナー (GNLS)	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	第2回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #2)	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		14~15	(土~日)	第53回ロータリー研究会	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		22	(日)	第2回地区リーダー向けセミナー (危機管理)	AP日本橋+ZOOM
		未定		インターアクト献血奉仕活動	新潟市、上越市

## 【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
吉田	櫻井 茂	2024.10.01	(株)いこい	代表取締役	飲食業 食堂・レストラン
越後春日山	福永 美由紀	2024.10.01	アスクル(株)	マーチャンダイジング本部	通信販売事業
高田	土田 竜吾	2024.10.04	八百屋の土田	店主	青果販売
三条	白鳥 賢	2024.10.16	(有)四季の定期便	代表取締役	食品製造・販売



「ロータリー財団をわかり易くクラブに伝えるために」  
～財団への支援は“クラブの活性化” & “会員増強”に繋がる～

## 第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 梶原 等（千葉 RC）



11月はロータリー財団月間です。  
ロータリーのリーダーの皆様は、各ポジションでロータリー財団の役割をどの様に伝えますか。今年度ロータリー財団管理委員長であるマーク・ダニエル・マローニー氏は以下の様に例えました。国際ロータリーを一つの愛車(Car)に例えロータリー財団はその愛車のエンジンであると。

そしてエンジンを動かす為には燃料(ガソリン)が必要です。その燃料は私達ロータリアン一人一人の支援(寄付)であるとメッセージを発信されております。

私達世界中のロータリー会員が様々な分野で活動をするときロータリーという“車”が世界中を駆け回る事になります。

この愛車を Rotary・Car とするならばその車は広報活動の役割を持ち、ロータリーのブランド力を広げる為に世界の平和の為に走りまわります。

ロータリーが目指す究極の目的は「世界の平和」です。  
その役割である活動を担うのがロータリー財団でもあります。  
ロータリー財団は 7 つの重点分野である「平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率の向上・地域社会の経済発展・環境」この 7 つをベースに各種活動プログラムの支援をし、活動プログラムのリソースの提供、活動資金であるグローバル補助金や地区補助金等、各種補助金活用の促進、財団に関するセミナー等を提供しております。

これ等のリソースは活用することにより自動的に各ロータリークラブの活性化へと繋がっていきます。そして世界中一人一人のロータリー会員が超私の奉仕という根本精神のもとロータリー財団を理解し、財団プログラムを展開した上で財団へ寄付することによりクラブへの帰属意識が高まります。

更には各クラブを中心にエンゲージメントが生まれ会員の維持・増強へと繋がる事によりロータリーの目的である世界の平和に向かう事ができるものと感じます。

又、新たな取り組みとして、年次基金-シェアへ支援された方々への“感謝の意”を伝えるために今年度から地区財団委員会が中心となり、感謝の手紙である“Thank You レター”を届ける取り組みをスタートさせています。これは3年前の年次基金-シェアが、具体的に自分たちの地区でどのようなプロジェクトへ活用され、成果を生んでいるかといった事を“Thank You レター”に含め、年次基金とシェアシステムの仕組みを理解して頂き、継続的な支援につなげて頂くという取り組みです。  
(2024-25 年度パイロット企画 3Year Thank You キャンペーン)

[本キャンペーンに関するお問い合わせ先:財団室 寄付推進コーディネーター\(AGO\) 近藤まで](#)

この11月、ロータリー財団月間に「ロータリー財団の役割と理解」を深めて参りましょう。





「アクションプランの推進」と「3年間の目標」について(その2)

## 第2地域 行動計画推進リーダー 桑澤 一郎 (茅野 RC)

前回は述べましたが、アーチック国際ロータリー会長は、会長イニシアティブの一つに「クラブにおけるアクションプランの推進」を掲げており、新たに各地域に「行動計画推進リーダー(アクションプランチャンピオン)」なる役を設け、地区やクラブへのアクションプランの浸透を推し進めています。

日本を包含する1,2,3地域では、既に各地区の「地区行動計画推進リーダー」34名が選任され、オンラインセミナーを開催するなど、順調に滑り出しています。さらに各地区のリーダーには「クラブ行動計画推進リーダー」の選任をお願いし、概ね7割くらいのクラブが選任または選任の準備をおこなっているようです。まずは態勢を整え、同時に各リーダーの知識を高め、年度内にクラブメンバーレベルへの浸透を目標としています。



行動計画は、いわば「ロータリー活動の指針」ですので、会員一人一人が、「4つの優先事項」に沿って自らの活動、行動ができていくかを常に意識できるようになることが目標です。ロータリーが社会に合わせて変化していくこと、より大きな影響力とメンバー同士の絆を増大させるための戦略です。

先日開催された2600地区のクラブ会長エレクトのセミナーでは、「クラブ会長テーマや事業はどうすれば良いか?」といった質問がありました。国際ロータリーは単年度目標から複数年目標にシフトしています。RI会長の年度テーマを廃止したことがその象徴的な現れでもあります。クラブ会長の単年テーマや単年事業はある意味その方向と合致しませんので、できれば会長ノミネーやデジグネートなどと共にクラブ戦略計画委員会を設置し、3年間の継続テーマや事業の構築をするのがよいのですが、急な変化に対応が難しいクラブは、徐々に進める必要もありますし、クラブ戦略計画としてあえて単年度事業を残す、という判断もあると思います。

一方で、クラブは「ロータリーの行動計画(指針)の推進」と「3-year rolling goals」の2つの方針に沿った新しい運営方法に変化していくことで、クラブの近代化、時代との整合へと導かれることも確かです。

いずれにしても大切なことは、この国際ロータリーによって示された方針の目的は、あくまでクラブのためのサポート、アドバイスであるということを理解し、クラブ運営を見直し、変化していくきっかけとして捉え、クラブの意思として自ら行動していくということにあります。

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。





### 第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 庄司 尚史 (境港 RC)

コーディネーターニュース 10月号でも EPNC の柳生好春さんが述べておられたパレスチナ自治区ガザでのポリオワクチン接種のニュースは、世界で大きく報道されました。毎日のように激しい戦闘が続くガザ地区で 25年ぶりにポリオ患者が発見され、ワクチン投与のために一時的に戦闘の休止が実行されたという報道は、ポリオ根絶を最優先テーマとしている我々ロータリアンにとって驚きのニュースでした。

WHOによると、9月1日～12日で56万人近くに接種できたようです。第2弾として10月半ばに残り数万人に接種の計画があるとのことですがおおむね目標が達成できたそうです。ポリオがいかに人類共通の脅威であるか認識を新たにしました。ポリオワクチン投与がガザ地区での停戦に結びつくことを期待したいものです。



この報道でマスメディアの力を印象付けられました。マスメディアに取り上げられるということは「お墨付き」効果があるといわれています。ポリオワクチン接種の必要性が全世界に「お墨付き」を与えられたと言っていいでしょう。

ロータリーとしても「お墨付き」効果を一段と強める必要があるように思います。クラブにおかれてはマスコミとの付き合いをどのようにされていますか？ 年に一度は懇談の機会を持っていらっしゃいますか？ 例会にお呼びされていますか？ ロータリー会員になっていただくとうれしいですね。地区、グループなど広域のエリアでマスコミを活用されていますか？ マスコミの皆さんにロータリーの活動を大いに理解していただきましょう。

10月は **米山月間**

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライト よねやま

vol.

295

2024年10月11日  
発行

## 1 米山学友会が被災地で合同ボランティア

9月15日、第2610地区米山学友会と第2660地区米山学友会が合同奉仕活動として、能登半島被災地支援ボランティアを実施しました。

両学友会は今年の6月から活動計画や意見交換を行っており、被災地支援と両学友会の親睦強化を目的とし、第2610地区学友会から13人、第2660地区学友会から24人の米山奨学生・学友、第2610地区の大橋聡司ガバナー、輪島RC、小矢部RCのロータリー会員が参加しました。

当日は輪島市役所を訪問し、総額40万円（第



2660地区学友会から30万円、第2610地区学友会から10万円)の支援金を輪島教育委員会へ贈呈。この支援金は今後、輪島市の学校の復興に役立てる予定とのことです。その後、介護老人保健施設「百寿苑」へ移動し、利用者のベッドや冷蔵庫、転倒したタンスなどを撤去するボランティア活動を行いました。

第2610地区学友会会長の<sup>ハンジュンイ</sup>範雋偉さん(2015-17/小矢部RC)は、「復興活動が続けていき、被災地域の方々に少しでも安心と希望を届けることができればと思います」と述べました。

## 2 ネパール訪問の懸け橋に

9月13日から16日、国際ロータリー第2790地区佐倉RCの会員7人がネパールを訪問し、現地の小中学校視察、生徒たちとの交流会、学校用品の寄贈、ドゥリケルRCとの交流会を行いました。

この訪問は、ネパール出身の米山学友であるケーシー ビザエさん(2017-18/市川RC)から、「母の母校である小中学校の衛生状態が非常に悪く、経済的にも改善するゆとりがありません。ロータリーの皆さまの力をお借りできない

でしょうか」と連絡があったことが発端。それを受け同クラブは、視察を目的にネパールへ赴き、十分な学習道具の購入ができない生徒たちへの学校用品支援、生徒たちとの交流会を行うことを決定。ビザエさんはこのプロジェクトの計画立案から参加し、現地では通訳、現地の学校、ドゥリケルRCとの調整など、コーディネートを担当。現地でも大活躍だったそうです。

現地を訪れた一人で、過去に米山奨学生のカウンセラー経験のある森本功会員は、「ビザエさんのおかげで素晴らしい経験ができました」と、ビザエさんの活躍を称賛。続けて、「彼のような米山学友たちは家族同然です。優秀で勤勉、エネルギーが豊富で多く、将来がとても楽しみです。我々にとって米山学友は『夢』、『希望』であり、成長した学友たちが日本と母国、そして世界との懸け橋になってくれる存在だと、心の底から思っています」と、述べました。



現地で活動するビザエさん(右)

### 3 寄付金速報 一年に1度の米山月間

前年同期比

- 21.7%

普 - 3.3% 特 - 36.0%

9月までの寄付金は前年同期と比べて21.7%減（普通寄付金:3.3%減、特別寄付金:36.0%減）、約9,900万円の減少とな

りました。9月は500万円の寄付を含む大口寄付が3件ありました。そのため、前年同月比較では1,000万円増加しています。ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。10月は米山月間です。引き続き皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 4 米山月間の由来

10月はロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマ、米山月間となっています。なぜ、10月が米山月間なのでしょう？

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月で

は各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。

### 5 2地区合同の清掃活動で柿田川をきれいに

9月7日、第2580地区・第2620地区合同の柿田川湧水公園清掃奉仕作業が実施され、米山奨学生・学友61人を含む210人が参加しました。この清掃活動は、地元の沼津柿田川RCの創立35周年記念事業として2015年から始まったもので、今回で8回目の開催となりました（20年、21年はコロナで中止）。参加者たちは、静岡県駿東郡の清水町地域交



清掃活動中の奨学生たち

流センターで川の生態系と外来種について清水町役場の職員からレクチャーを受け、柿田川湧水公園へ移動。3班に分かれ、一級河川である柿田川の外来種駆除、川辺の外来種駆除、公園の散策をローテーションで行いました。米山奨学生たちは、参加したカウンセラーと一緒に清掃を行い、奉仕活動をしながら親睦を深める有意義な時間となりました。

#### 韓国米山学友会 総会開催のご案内

◇2024年11月16日（土）17:00～

◇会場：ソウルパシフィックホテル 2階（南山ホール）

詳細はQRコードから



詳細はQRコードから



#### 台湾米山学友会 総会開催のご案内

◇2024年12月8日（日）17:30～

◇会場：格萊天漾大飯店（Great Skyview）